

2008 年 8 月 21 日

新潟県

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

～新潟県とセブン-イレブン・ジャパン～

『地域活性化包括連携協定』を締結 ～地産・地消、健康増進、高齢者支援等 10 分野で相互連携開始～

新潟県（県知事 泉田 裕彦）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎）は、2008 年 8 月 21 日（木）、地産・地消や健康増進、高齢者支援等 10 分野において相互の連携を強化し、新潟県内における地域の一層の活性化に資する『地域活性化包括連携協定』を締結いたします。

記

1. 協定の名称 『地域活性化包括連携協定』

2. 協定締結日 2008 年 8 月 21 日（木）

3. 協定締結の目的

新潟県とセブン-イレブン・ジャパンの、地域活性化に向けた緊密な相互連携・協働の取組による、県民サービスの向上および地域の活性化

4. 連携事項

上記の目的を達成するために、次の項目について連携し協力していきます。

- ① 地産地消および県オリジナル商品の販売・キャンペーン実施に関するこ
- ② 県産の農林水産物、加工品、工芸品の販売に関するこ
- ③ 健康増進・食育に関するこ
- ④ 高齢者支援に関するこ
- ⑤ 子供・青少年育成に関するこ
- ⑥ 観光情報・振興に関するこ
- ⑦ 環境問題対策に関するこ
- ⑧ 地域・暮らしの安全・安心に関するこ
- ⑨ 災害対策に関するこ
- ⑩ その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関するこ

＜ご参考＞

新潟県内のセブン-イレブン店舗 336 店舗（2008 年 7 月末現在）

具体的な連携事項案

(1) 地産地消および県オリジナル商品の販売・キャンペーンの実施に関すること

◆新潟の「食」の多様さを紹介する「うまさぎっしり新潟フェア」の実施

- ・期間：8月22日（金）～9月4日（木）（14日間）
- ・それぞれの地区の特産品をメインに、セブン-イレブンのオリジナル商品の開発・販売を行う
- ・電子マネー『nanaco』とのタイアップにより、フェア期間中は対象商品について、ボーナスポイント（通常購入分ポイントに付加されるポイント）を付与する
- ・キャンペーン期間中の告知
 - ① イメージポスターを製作し、セブン-イレブン店頭他に掲示する
 - ② 「うまさぎっしり新潟」シールを対象の商品に添付する

◆セブン-イレブンの店舗網（2008年7月末現在336店舗）を活用した商品展開の実施

- ・この店舗網を活かし、地域ごとの味を、県内相互に紹介をすることで、「新潟の味」再発見へいざない、地域の活性化、郷土への理解の深耕に努める
- ・また、県のイメージの向上のために協力していく

◆県において、生産量・品質の優位性が高い产品(にいがたフード・ブランド)を活用した商品の開発・販売

- ・具体案①：新潟県産コシヒカリ、ル レクチエ、にいがた和牛、越後姫、佐渡寒ぶり、新潟茶豆、にいがた地鶏、ヤナギガレイ、南蛮エビ等これらの生産物を活用し、県民へ県産物の消費促進を図るとともに、県のイメージ向上のために協力していく

- ・具体案②：県限定版スナック菓子・加工食品等の販売

◆県の食文化を活かした商品の開発・販売

- ・食文化に根ざした、知名度が高いメニューを、地域団体及び県内企業の協力を得て開発・販売する

◆にいがた21地産地消運動への参加

(2) 県産の農林水産物、加工品、工芸品の販売に関すること

◆県産の農林水産物を活用した商品開発および販売

- ・『越後姫』を加工した商品(調理パン・デザート)を販売し、県産イチゴのイメージアップを図る
- ・県産の『魚沼産コシヒカリ』『黒崎茶豆』『十全なす』『ル レクチエ』をギフトにて販売
- ・県産米の使用(おにぎり・弁当)
- ・県産野菜(アスパラ、とうな、まいたけ、なめこ)を加工した商品(米飯・麺類・惣菜・サラダ)の開発
- ・県産牛肉を加工した商品の開発

◆県産加工食品の販売

- ・新潟清酒の販売促進

(3) 健康増進・食育に関すること

【実施中】

- ◆新潟県たばこ対策協議会への参加

【検討中】

- ◆食育、地産地消の普及啓発
 - ・食育シンボルマークを添付した商品の販売
- ◆「新潟健康づくり支援店」の登録
 - ・弁当、惣菜の栄養成分表示
 - ・「新潟食彩弁当」(食育弁当)の販売
 - ・健康情報の発信(新潟県が作成したポスター等の掲示)
- ◆朝食文化の創造及び発信
 - ・朝食キャンペーンの実施
 - (朝食促進の一環として、おにぎり・サンドイッチ商品販売および販促物を掲示)

(4) 高齢者支援に関すること

【実施中】

- ◆高齢者にも見やすいような大きな文字での値札の設置(ユニバーサルデザイン)
- ◆お食事配達サービス「セブンミール」の提供
 - (管理栄養士が監修したバランスのとれた本格的なお惣菜や簡単に調理できる食材セット等を提供)

【検討中】

- ◆御用聞きサービスの本格展開〔買い物困難者(主に高齢者等)への商品配達を実施〕

(5) 子供・青少年育成に関すること

【実施中】

- ◆県内の小中高生を対象に行われる職場体験の積極的な受入れ(県内直営店はじめ既に実施している店舗も含めて順次協力店舗を拡大)
- ◆セーフティステーション活動による青少年健全育成への取組
 - ※セーフティステーション活動: 2005年10月から社団法人日本フランチャイズチェーン協会に加盟する12社、全国約42,000店のコンビニエンスストアが、社会的責任の一環として「安全・安心なまちづくり」並びに「青少年環境の健全化」に取り組む自主的な活動
 - ・未成年者への酒類・たばこの販売禁止
 - ・18歳未満者への成人向け雑誌の販売・閲覧禁止
 - ・少年・少女の非行化防止 等(近隣住民の方の迷惑となるたまり場化の防止)
- ◆セブン銀行協賛「森の戦士ボノロン」をセブン-イレブン店頭にて無料配布

(6) 観光情報・振興に関すること

【検討中】

- ◆県内観光施設・イベントのチケット販売
- ◆観光情報の提供(近隣観光施設の紹介・道案内の実施)
- ◆2009年『新潟大観光交流年』への観光情報等へ積極協力

(7) 環境問題対策に関すること

【実施中】

- ◆環境にやさしい「竹」の割り箸への変更
- ◆弁当の包装形態を従来のラップ包装から「テープ止め」に変更(プラスチック原料の削減)
- ◆セブン-イレブン配送車両のCO₂削減
(配送車両の自主管理基準作成、配送車に新型車載端末設置=エコドライブ意識向上)
- ◆店舗の電力使用量の削減
 - ・蛍光灯にHf型蛍光灯を使用
 - ・季節、天候、時間帯で変化する採光量に合わせて、自動調節する連続調光装置導入
 - ・IH式のおでんウォーマーの導入(1店舗当たり約1,650kwh削減)
- ◆レジ袋削減の取組
 - ・お客様に対して、レジ袋不使用の声かけの実施
- ◆レジ袋削減の取組
 - ・マイバッグ持参の促進、エコバッグの販売

【検討中】

- ◆環境市民団体の活動への「セブン-イレブンみどりの基金」を通じた支援
- ◆県が推進するカーボンオフセット商品の企画・販売への協力
- ◆LED照明の導入
- ◆県産材(間伐材等)を活用した店舗づくり

(8) 地域・暮らしの安全・安心に関すること

【実施中】

- ◆セーフティステーション活動による地域の安全対策・防犯対策の取組
 - ・女性、子供等の駆け込みへの対応
(急病・怪我・不審者につけられた時、迷子保護等地域の駆け込み寺として地域住民の安全・安心をサポート)
 - ・高齢者、障害者等の介護補助と連絡
 - ・自主防犯(強盗・万引き等の防止対策)体制の整備
 - ・地域顧客への安全情報の発信・提供
 - ・緊急事態(災害・事故)に対する110番・119番通報の実施
 - ・防犯カラーボールの店内配備

(9) 災害対策に関すること

【実施中】

◆各自治体との災害協定の締結

- ・長岡市との災害協定の締結
- ・十日町市との災害協定の締結
- ・災害時の食料品、日用品等の支援物資の調達の協力

【検討中】

◆新潟県との「災害時における緊急物資に関する応援協定」の締結

◆災害時の帰宅困難者等に対する支援

- ・災害時、徒步帰宅困難者に対して水道・トイレ・周辺情報等を提供
- ・災害時に入手した被災状況等のお客様への提供、行政や警察への通報

(10) その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること

【実施中】

◆ATM 機への「振り込め詐欺の注意喚起」表示

【検討中】

◆新潟県の PR 活動

- ・ホームページ相互リンク

◆障害者への支援（長期的対応）

- ・障害者福祉サービス作業所の製品販売、障害者の買物訓練等の場を提供

◆『トキめき新潟国体』および『トキめき新潟大会』に向けて、県民総参加の大会となるための協力を行う